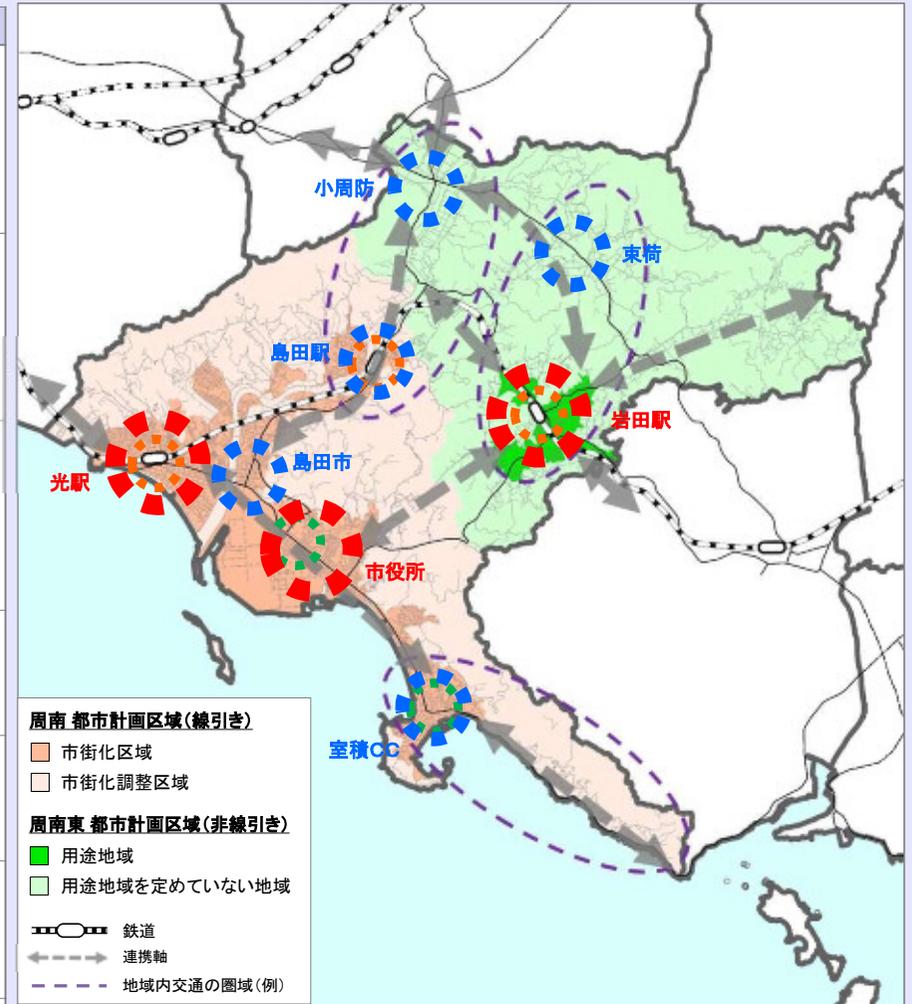


都市づくりの基本的な方向性（1/3）

○拠点地区ごとの都市づくりの方向性（（1）上位・関連計画での位置づけ（前提事項））

■上位・関連計画での位置付け

地区名	主な位置付け	方向性
光駅周辺地区	市街化区域 主要交通結節点	<p>【総合計画】光駅周辺地区における都市機能の充実と集積</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅橋上化の促進や周辺バリアフリー化、交通結節機能充実など、まちの玄関口にふさわしい都市機能の整備 ・白砂青松の虹ヶ浜海岸へと続く松林などの自然環境と都市環境が調和した都市景観の形成 <p>【都市M P】にぎわいの場を創出するため、本市の玄関口に相応しい都市機能の充実を図るとともに、白砂青松の虹ヶ浜海岸と調和した都市空間を創出するため、土地の高度利用について調査・研究</p>
市役所周辺地区	市街化区域 交通結節点	<p>【総合計画】行政拠点としての機能充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な市民ニーズに対応できる行政機能の充実 ・施設間の機能分担・連携強化による行政サービス向上 ・災害対策拠点の市役所本庁舎の耐震化のあり方検討 <p>【都市M P】各種公共施設や文教施設が集積した地区であり、市の中心としてふさわしい都市機能の充実と環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所本庁舎の耐震化のあり方検討
岩田駅周辺地区	用途地域 中山間地域 主要交通結節点	<p>【総合計画】誰もが安心して住み続けられる、快適で便利なまちの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスや多様な活動を支える大和複合型施設や多様な世代に配慮した公営住宅の整備。 ・地域医療体制の充実 ・交通結節機能充実等、利便性の高い公共交通網の形成 <p>【都市M P】交通便利性や公共施設、医療機能等が集積する高齢者も歩いて生活できるコンパクトなまちづくりを目指し、生活に必要な機能の集積を進める</p>
室積CC周辺地区	市街化区域 交通結節点	<p>【総合計画】歴史資源や自然環境などの保全・活用と水産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い歴史と町並みが残る室積半島を中心に、海商通りや峨嵋山樹林などの歴史的資源と室積海岸などの豊かな自然環境を保全。 ・観光資源ネットワーク化による観光・交流機能の強化
島田市地区	市街化区域	<p>【総合計画】浅江・島田地区に集積する地場企業の活性化や、商工会議所や商店会との連携による地域の特性や魅力を活かした商業やサービス活動の活性化など、都市の活力を支える産業の振興</p> <p>【都市M P】島田市地区については、にぎわいのある商業地域として活性化</p>
島田駅周辺地区	市街化区域 主要交通結節点	<p>【総合計画】地域資源を活用した市民の交流・ふれあい空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田川の美しい自然景観を活用した親水空間や三島温泉健康交流施設「ゆーぱーく光」を活用した市民の憩いと健康づくりの場の整備 ・「ゆーぱーく光」への公共交通アクセスを確保するとともに、島田川兩岸を結んだ、一体的な交流・ふれあい空間の形成
小周防地区	地域 中山間	<p>【総合計画】土地利用の規制・誘導について検討を進めるとともに、周防工業団地については住工分離</p>
東荷地区	地域 中山間	<p>【総合計画】多様な地域資源の保全と、歴史と自然を活かしたツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化・観光・交流機能の充実に努めるとともに、集客力の高い「里の厨」や伊藤公記念公園を入口に、良好な自然景観や多様な地域資源を連携させた回遊性の高いツーリズムを推進



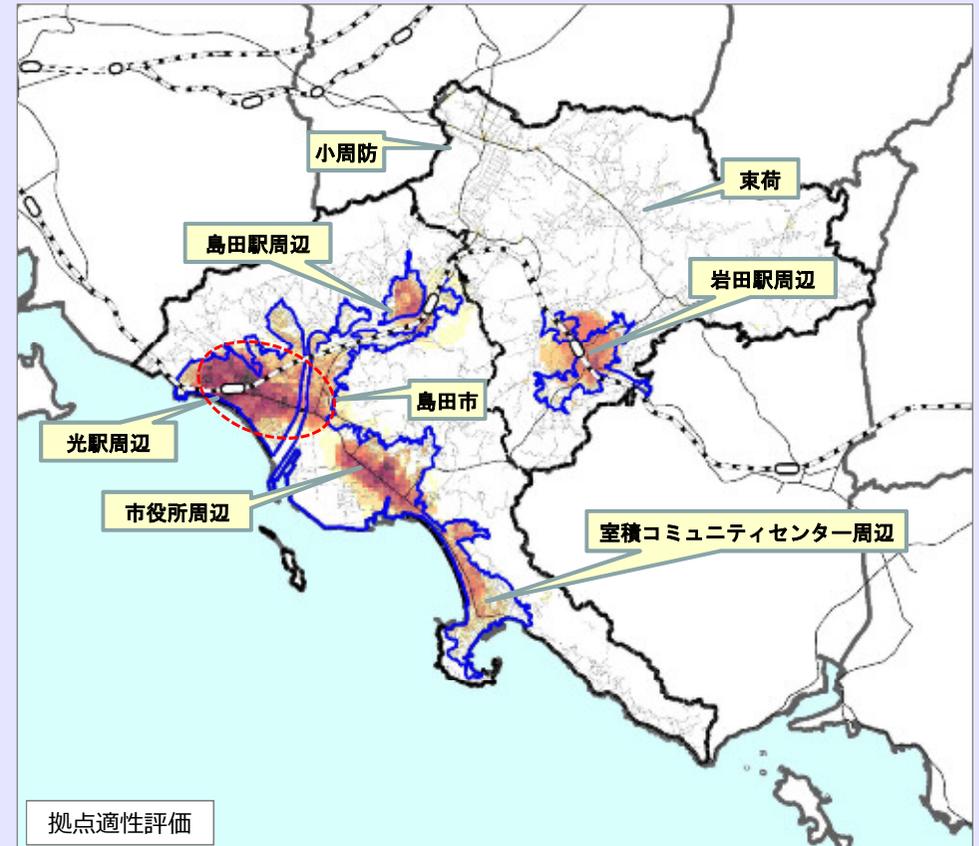
拠点地区	都市拠点地区 ■ 光駅周辺地区 ■ 市役所周辺地区 ■ 岩田駅周辺地区	生活・交流拠点地区 ■ 室積CC周辺地区 ■ 島田市地区 ■ 島田駅周辺地区 ■ 小周防地区 ■ 東荷地区
	主要交通結節点 ■ 光駅 ■ 島田駅 ■ 岩田駅	交通結節点 ■ 市役所前 ■ 室積CC付近

都市づくりの基本的な方向性（2/3）

○拠点地区ごとの都市づくりの方向性（（2）現状・将来の見通し等を加味（現状分析：拠点適性の評価））

■現状の分析（拠点適性の評価）

都市MP 位置付け	地区名	現状（拠点適性の評価）※評価点は、地区内で最も点数が高いメッシュの点数							総合 評価
		①基幹的 都市機能	②都市機能 の集積	③基幹的 公共交通	④生活サー ビス機能	⑤将来人口 密度	⑥都市基盤	⑦災害 安全性	
都市拠点地区	光駅 周辺地区	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎
	市役所 周辺地区	◎	○	◎	○	○	○	○	◎
	岩田駅 周辺地区	○	△	◎	○	▲	△	△	○
生活・交流拠点地区	室積 CC周辺 地区	△	○	△	○	△	○	○	○
	島田市 地区	◎	◎	△	○	▲	○	△	○
	島田駅 周辺地区	▲	△	○	○	△	△	△	○
	小周防 地区	▲	△	▲	▲	▲	△	△	△
	東荷 地区	▲	▲	▲	▲	▲	▲	△	△
	（空白）	-	-	-	-	1.6人/ha	道路や街区公園が一定程度整備されている	土砂災害特別警戒区域	△



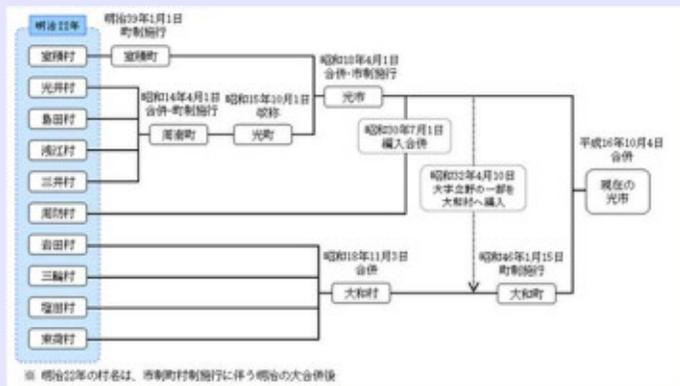
地区	光駅 周辺	市役所 周辺	岩田駅 周辺	室積CC 周辺	島田市	島田駅 周辺	小周防	東荷
拠点適性	◎	◎	○	○	○	○	△	△

都市づくりの基本的な方向性 《参考資料》

○まちの成り立ち

- ・現在の光市の市域は、明治22年の市制町村制施行時に設置された10箇村から構成される
- ・戦後、旧光市は周南工業地帯の一翼を担う近代都市として発展
- ・一方、旧大和町は周南地域のベッドタウンとして、また農住の町として発展
- ・歴史的、経済的、地理的につながりの深い旧光市と旧大和町は、平成16年10月4日に合併して現在の光市となる

■光市の変遷



■明治22年市制町村制施行時の10箇村

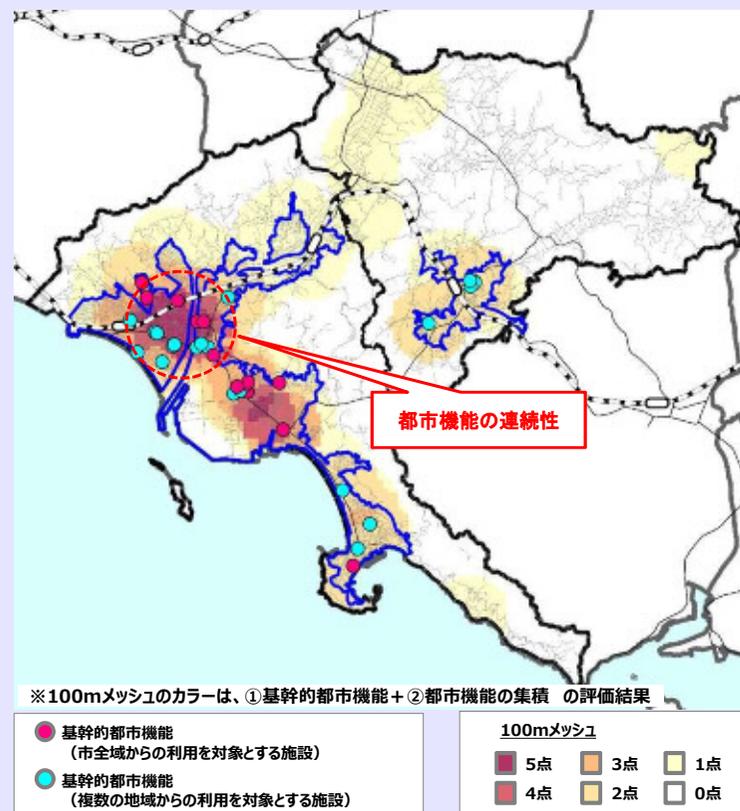


○光駅周辺～島田市について

- ・まちの成り立ちの経緯などから、これまで光駅周辺地区と島田市地区は、別々の地区として扱われることが多かった
- ・一方で、都市全体の観点から、現在の基幹的な都市機能の立地状況及び都市機能の集積状況に着目してみると、下図のとおり、光駅周辺から島田市にかけて、連続して都市機能が集積している状況であり、このエリアは本市における中心的な拠点の一つとしての役割を担っている重要なエリア
- ・生産年齢人口を中心とした人口の急激な減少が見込まれる中、今後の都市づくりにおいては、これまで以上に既存の都市機能を有効に活用していくことが肝要

⇒ 本計画では、地理的条件や現在の土地利用の状況を考慮しつつ、既存の有用な都市機能をしっかりと維持し、有効活用していくために、**光駅周辺～島田市を一体の地区として捉えて、今後の都市づくりを考える**

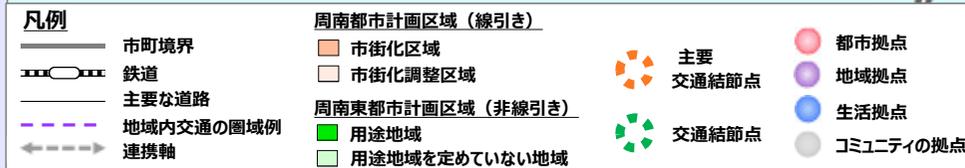
■基幹的な都市機能の分布及び都市機能の集積状況



都市づくりの基本的な方向性（3/3）

○拠点地区ごとの都市づくりの方向性（3）拠点地区ごとの都市づくりの方向性

■拠点地区ごとの都市づくりの方向性 及び 目指すべき将来の都市の骨格構造（案）



1つの拠点として捉える

（1・5）光駅周辺～島田市地区 拠点適性の評価：◎

・主要交通結節点として市の玄関口となっているとともに基幹的都市機能が集積するなど拠点性が特に高く、都市拠点づくりを進める。

▶【方針】都市機能が集積し、にぎわいに満ちた「都市拠点づくり」

（2）市役所周辺地区 拠点適性の評価：◎

・市域全体からの利用が想定される基幹的都市機能が集積するなど拠点性が特に高く、都市拠点づくりを進める。

▶【方針】行政・文教機能をはじめ多様な都市機能が連携した「都市拠点づくり」

（3）岩田駅周辺地区 拠点適性の評価：○

・複数の地域からの利用が想定される基幹的な都市機能があり、主に東部地域の生活を支える地域拠点づくりを進める。

▶【方針】誰もが安心して住み続けられる、快適で便利な「地域拠点づくり」

（4）室積CC周辺地区 拠点適性の評価：○

・市街化区域で、基幹的都市機能など一定の都市機能があり、生活拠点づくりを進める。

▶【方針】歴史資源や自然環境の豊かな「生活拠点づくり」

（6）島田駅周辺地区 拠点適性の評価：○

・市街化区域で、主要交通結節点と位置付けられており、一定の都市機能があり、生活拠点づくりを進める。

▶【方針】交流とふれあいを生む憩いの「生活拠点づくり」

（7・8）小周防地区・東荷地区 拠点適性の評価：△

・基幹的施設の立地は無いものの、一定の都市機能があり、中山間地域の生活を支えるコミュニティの拠点（小さな拠点）づくりを進める。

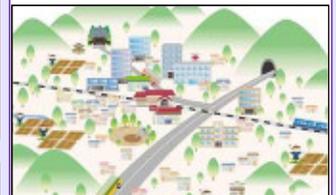
▶【方針】中山間地域の「コミュニティの拠点づくり」

（参考）都市拠点づくりのイメージ



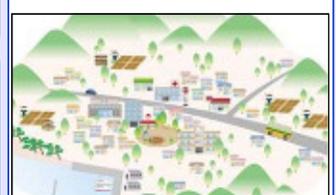
・役割に応じた広域的な高次の都市機能が集積
・周辺には住宅地が広がる
・公共交通で他地域とつながる

（参考）地域拠点づくりのイメージ



・中心部に地域の生活を支える都市機能が集積
・周辺には住宅地が広がる
・公共交通で他地域とつながる

（参考）生活拠点づくりのイメージ



・日常生活に必要な基礎的な都市機能が集積
・周辺には住宅地が広がる
・公共交通で他地域とつながる

（参考）コミュニティの拠点づくりのイメージ



・生活支援機能の集約・確保
・地域の資源を活用し、しごと・収入を確保など

出典：内閣府「小さな拠点」づくり資料